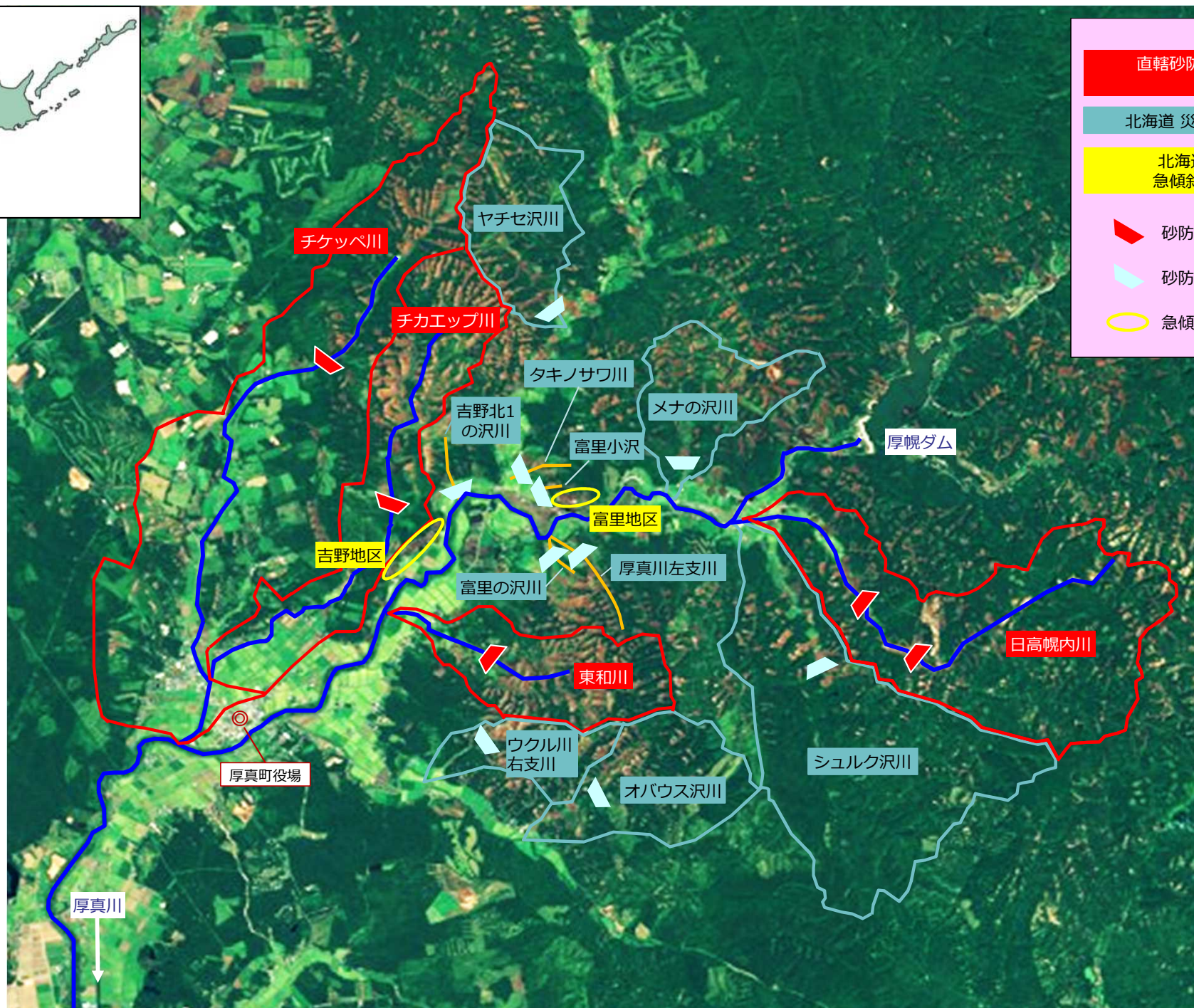


胆振東部地震からの復旧状況

北海道開発局 室蘭開発建設部



【砂防】厚真川水系における砂防事業(直轄＋補助)



凡 例	
直轄砂防災害関連緊急事業 特定緊急砂防事業	
北海道 災害関連緊急砂防事業	
北海道 災害関連緊急 急傾斜地崩壊対策事業	
	砂防堰堤工（直轄） 4溪流
	砂防堰堤工（補助） 10溪流
	急傾斜地崩壊対策工 2箇所

【砂防】東和川(緊急対策工＋恒久対策工)

- 不安定土砂の再移動を防止するため、緊急的な砂防堰堤を整備。令和元年7月完成。
- 令和2年度より、計画規模に対応した砂防堰堤のかさ上げ等を実施。

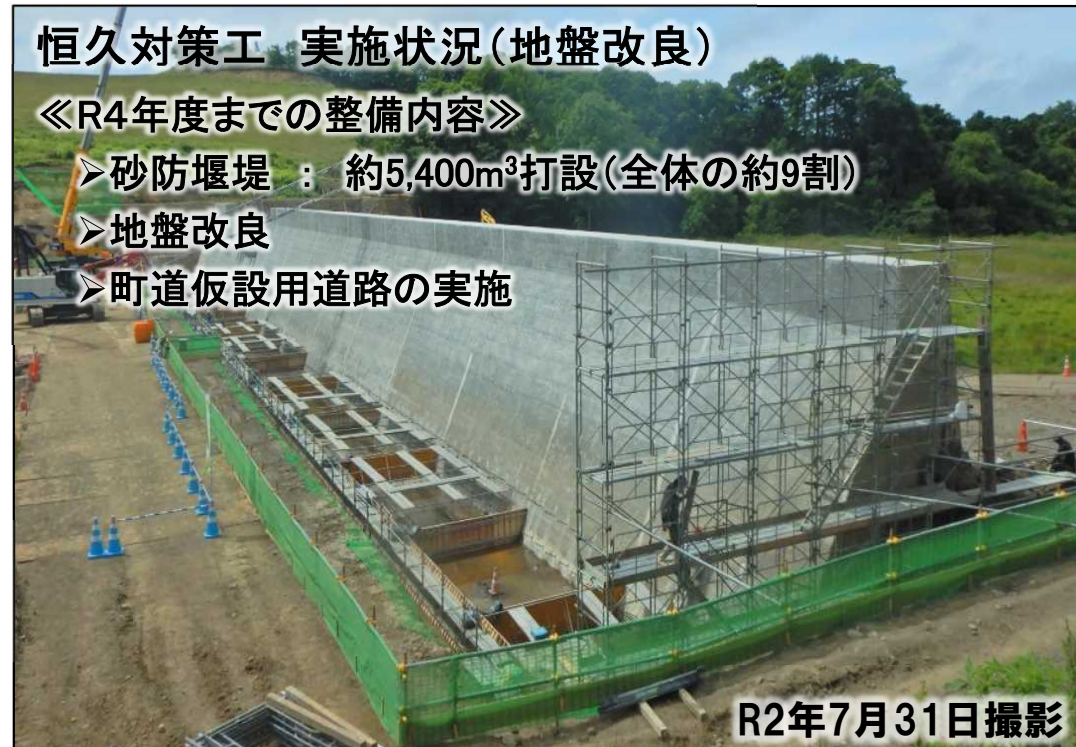
緊急対策工 完成



恒久対策工 実施状況(地盤改良)

《R4年度までの整備内容》

- 砂防堰堤：約5,400m³打設(全体の約9割)
- 地盤改良
- 町道仮設用道路の実施



緊急対策工 着工前

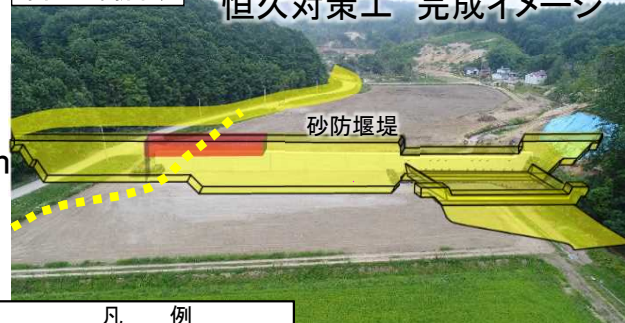


《緊急対策工 実施概要》

- 地盤改良：18,700m³
- 砂防堰堤：堤高約6m、堤頂長約100m

東和川 砂防堰堤

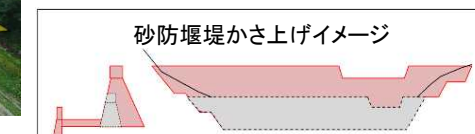
恒久対策工 完成イメージ



凡 例	
	令和4年度まで実施
	令和5年度実施

《恒久対策工 実施概要》

- 地盤改良：9,000m³
- 砂防堰堤：堤高約12m、堤長約150m



【砂防】厚真川水系東和川の進捗状況



地震直後



令和元年6月6日撮影(緊急対策施工中)



令和2年4月27日撮影(緊急対策完成後)



令和2年10月21日撮影



令和3年8月31日撮影



令和4年9月30日撮影

【砂防】東和川(土砂堆積状況)



東和川土砂堆積状況(H30.10.4撮影)

【砂防】東和川(恒久対策工事状況)

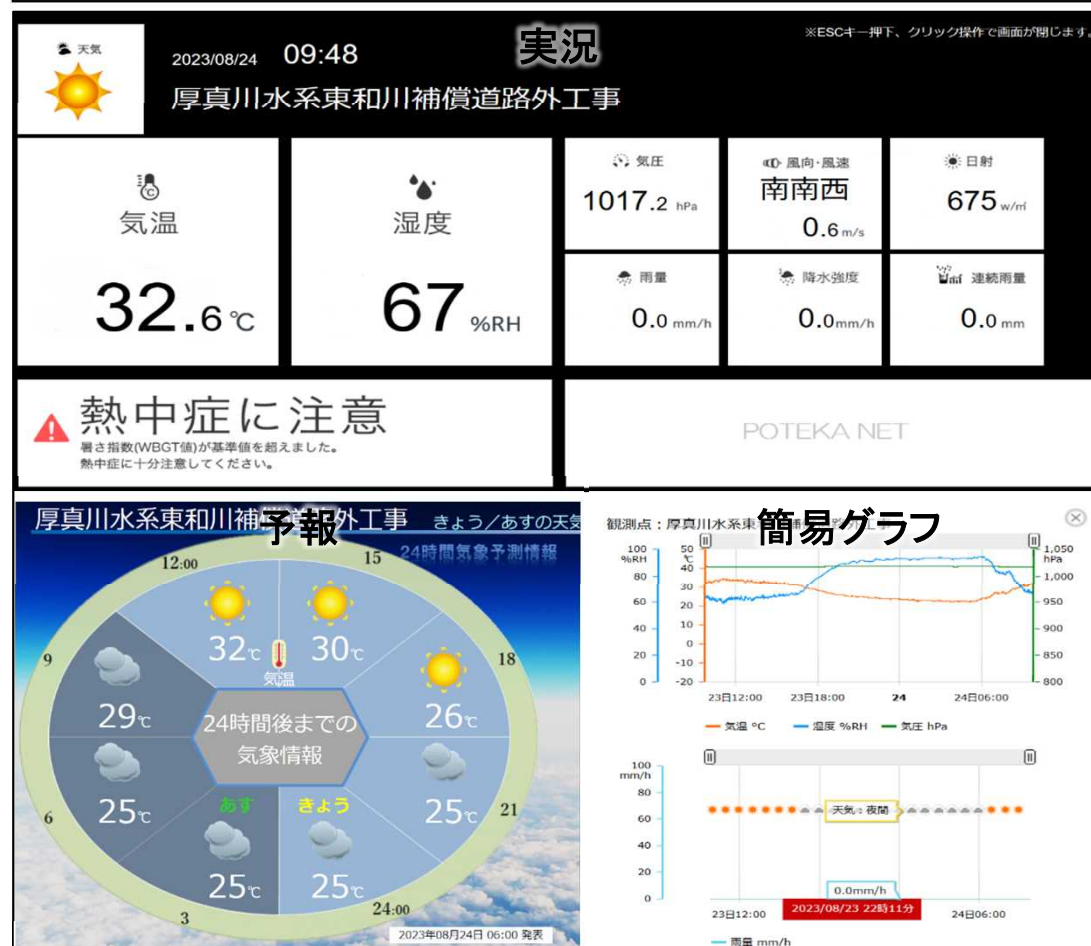


東和川工事状況(R5.8.24撮影)

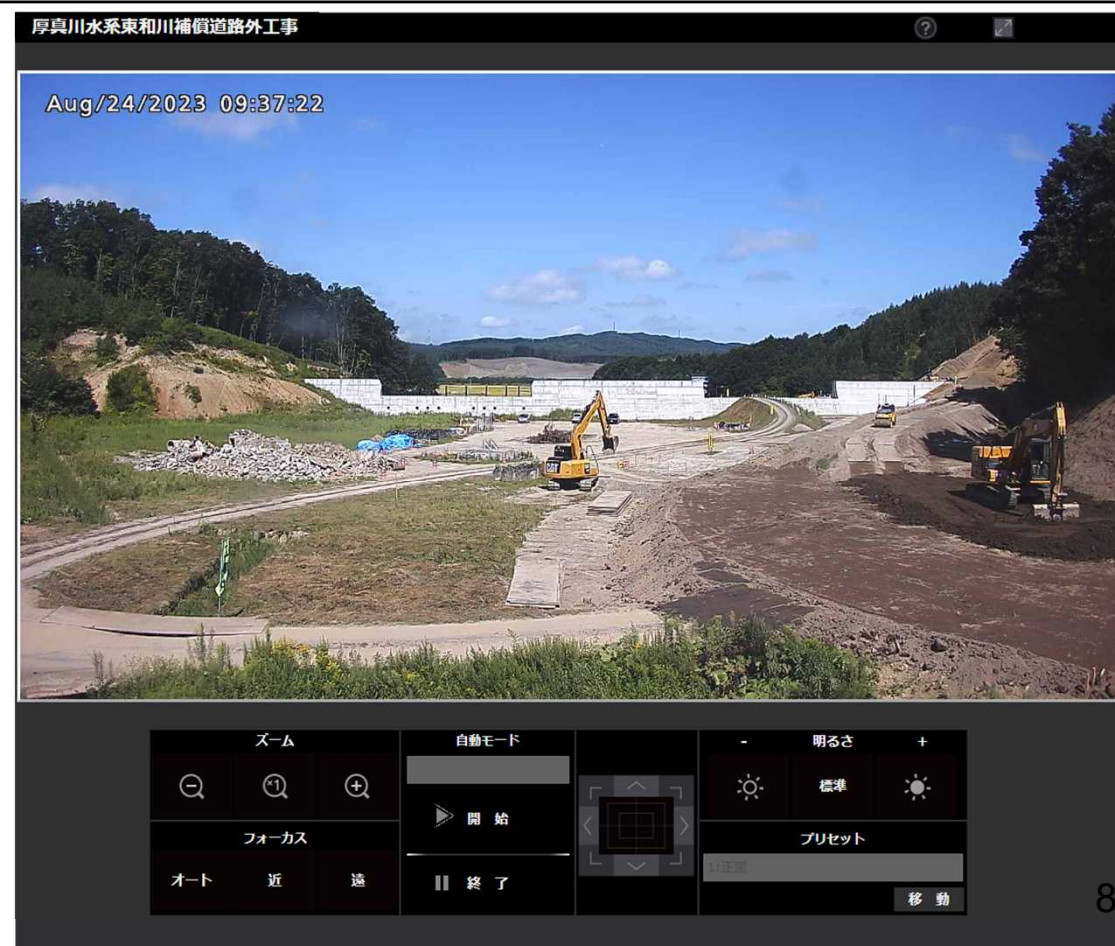
【砂防】東和川(防災対応の取組事例)

施工箇所の上流域には大量の不安定土砂が堆積しており、降雨による土砂災害が発生するおそれがあることから、詳細な気象情報を収集するために超高密度気象観測・情報提供サービス「POTEKA」を採用

- 土砂災害を引き起こすおそれのある降水強度・大雨・連続雨量、その他に強風・気象急変・熱中症も含め6種類について閾値を超える値を観測した場合に気象アラート速報を配信し、現場作業員の早急な避難行動や熱中症対策等が可能である。
- WEBカメラにより、遠隔地においても現場状況をリアルタイムで確認することが可能である。さらに電力はソーラー蓄電池より駆動しゼロカーボンに寄与している。



POTEKA画像(PCモニター)



WEBカメラ画像(PCモニター)

【砂防】チケツペ川(緊急対策工＋恒久対策工)

- 不安定土砂の再移動を防止するため、緊急的な砂防堰堤を整備。令和元年8月完成。
- 令和2年度より、計画規模に対応した砂防堰堤のかさ上げ等を実施。

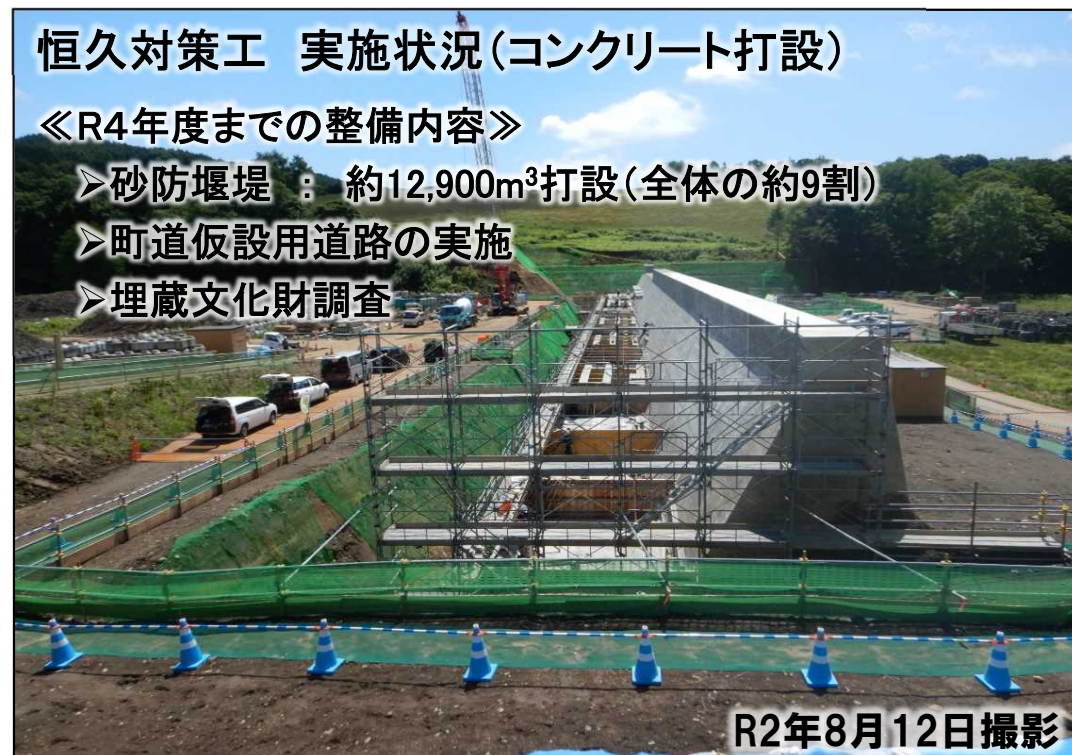
緊急対策工 完成



恒久対策工 実施状況(コンクリート打設)

《R4年度までの整備内容》

- 砂防堰堤：約12,900m³打設(全体の約9割)
- 町道仮設用道路の実施
- 埋蔵文化財調査



緊急対策工 着工前

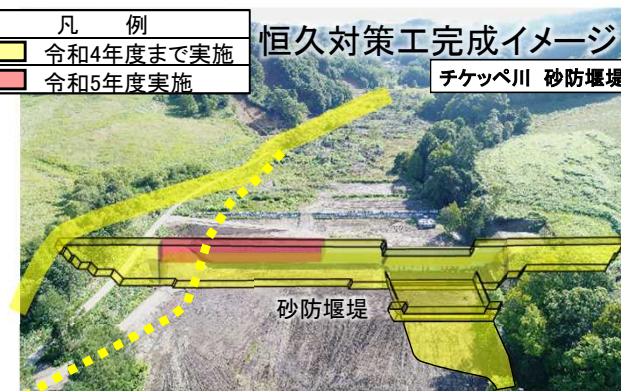


《緊急対策工 実施概要》

- 砂防堰堤：
堤高約9m、堤長約140m

凡 例	
令和4年度まで実施	
令和5年度実施	

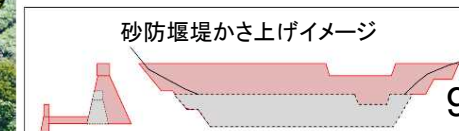
恒久対策工完成イメージ



《恒久対策工 実施概要》

- 砂防堰堤：
堤高約15m、堤長約230m

砂防堰堤かさ上げイメージ



【砂防】チカエツプ川(緊急対策工+恒久対策工)

- 不安定土砂の再移動を防止するため、緊急的な砂防堰堤を整備。平成31年4月完成。
- 令和2年度より、計画規模に対応した砂防堰堤のかさ上げ等を実施。

緊急対策工 完成



恒久対策工 実施状況

《R4年度までの整備内容》

- 砂防堰堤：約7,100m³打設(全体の約9割)
- 町道仮設用道路の実施
- 埋蔵文化財調査

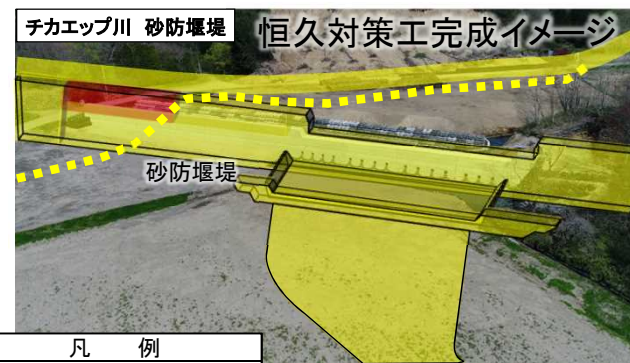


緊急対策工 着工前



《緊急対策工 実施概要》

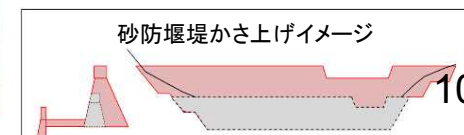
- 地盤改良：約7,200m³
- 砂防堰堤：
堤高約6m、堤長約110m



凡 例	
黄色	令和4年度まで実施
赤色	令和5年度実施

《恒久対策工 実施概要》

- 地盤改良：8,400m³
- 砂防堰堤：
堤高約10m、堤長約170m



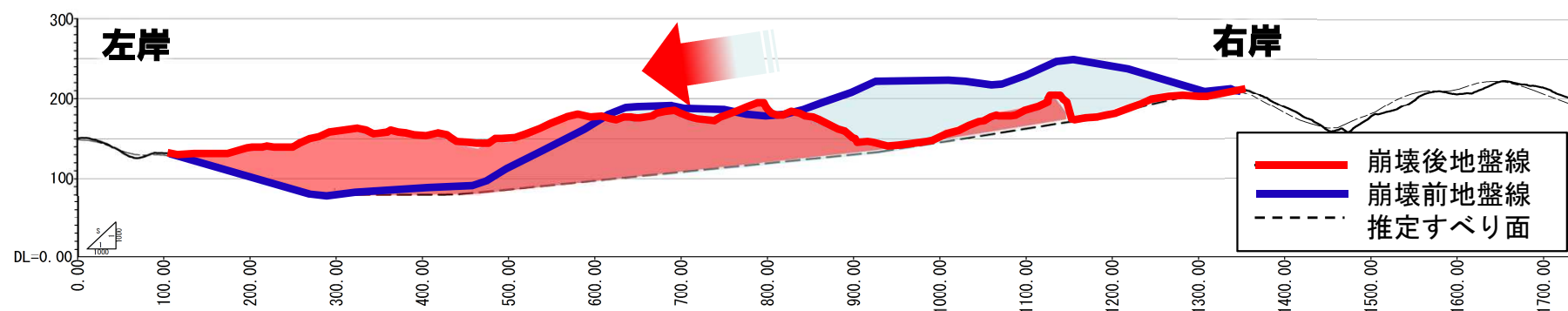
【砂防】日高幌内川(大規模河道閉塞概要)

大規模な河道閉塞が発生

幅約400m、長さ約800mの尾根が約350m崩落し、河道を約1,100m閉塞

河道閉塞部の高さ: 約50m 閉塞部推定土量: 約500万 m^3 湛水量: 最大1,300万 m^3 (閉塞したまま放置した場合)

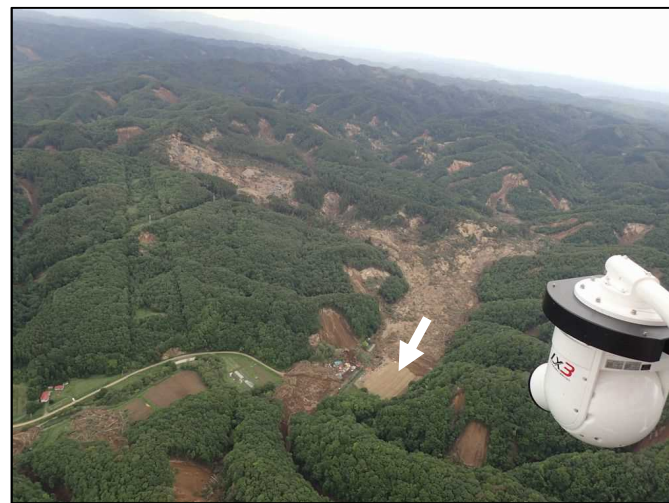
越流が生じ、閉塞土砂が侵食され、決壊した場合に、下流の幌内地区、厚真町市街地への被害が想定されることから緊急的な対策工が必要。



大規模崩壊断面図

【砂防】発災直後の緊急的な対応(現地調査・監視機器設置)

- 斜面崩壊および河道閉塞全体を把握するため、ヘリおよび地上から確認
- 河道閉塞上流の湛水箇所への運搬路を造成し、アクセスを確保



ヘリによる全体像の確認



河道閉塞全体を踏査により把握



重機による運搬路造成

- 監視機器として、監視カメラ（上下流）、水位計（上下流）を迅速に設置
商用電源がなく、携帯電波が通じないため、ソーラー発電および衛星電波を用いて通信
- 崩壊土砂による悪路や河道閉塞上流への道路が未啓開のため、特装車やヘリを活用し資機材を運搬



上流側 監視カメラ



上流側 水位計（投下型水位観測ブイ）



ヘリによる資機材運搬



特装車による資機材運搬

【砂防】日高幌内川(緊急対策工)

- 緊急対策では、「湛水量の低減（決壊流量規模の低減）」、「河道閉塞部の安定化・侵食防止」、「下流への流出土砂抑制」を目的した対策を実施
- 施工機械セット数の増加、施工機械の大型化、24時間施工、ICT建設機械（0.8m³級バックホウ）の導入、プレキャスト化などによる作業効率の向上を図りながら実施

【緊急対策工の主な工種と数量】

- ・ 掘削工 V=340,000m³
- ・ 盛土工 V=340,000m³
- ・ 水路工 L=830m W=20m A=13,000m²
- ・ 基幹砂防堰堤 高さ（越流部 H=3.8m 非越流部 H=6.0m） 、L=144m ブロック使用数量 N=2,628個
- ・ 下流砂防堰堤 高さ（越流部 H=3.1m 非越流部 H=5.8m） 、L= 94m ブロック使用数量 N=1,276個

※砂防堰堤は備蓄ブロックを活用



施工セット数の増加、施工機械の大型化①



夜間施工状況①



ICT施工(掘削作業)



施工セット数の増加、施工機械の大型化②



夜間施工状況②



水路工(大型連節ブロック)

【砂防】日高幌内川(緊急対策工)



緊急対策工は、融雪出水期前の平成31年3月26日に完成

【砂防】日高幌内川(恒久対策工)

○ 恒久対策では計画規模に対応した砂防設備を整備

- ・基幹堰堤:緊急対策で整備した堰堤の下流側にコンクリート堰堤を整備。
- ・水路工:大型連節ブロックにコンクリートを増打ちし流下能力を向上。
- ・溪流保全工:法線を中央側とし、上流側の水路工に接続するよう設置。
- ・下流堰堤:拡幅したブロック堰堤を整備予定

○ 令和4年度までの整備内容

基幹堰堤:約11,700m³を打設、水路工:約350m(概ね完成)、溪流保全工:3基と帯工(全体の約8割)、下流堰堤を実施



【砂防】日高幌内川(恒久対策工事状況)①



日高幌内川工事状況(R5.8.23撮影)

【砂防】日高幌内川(恒久対策工事状況)②



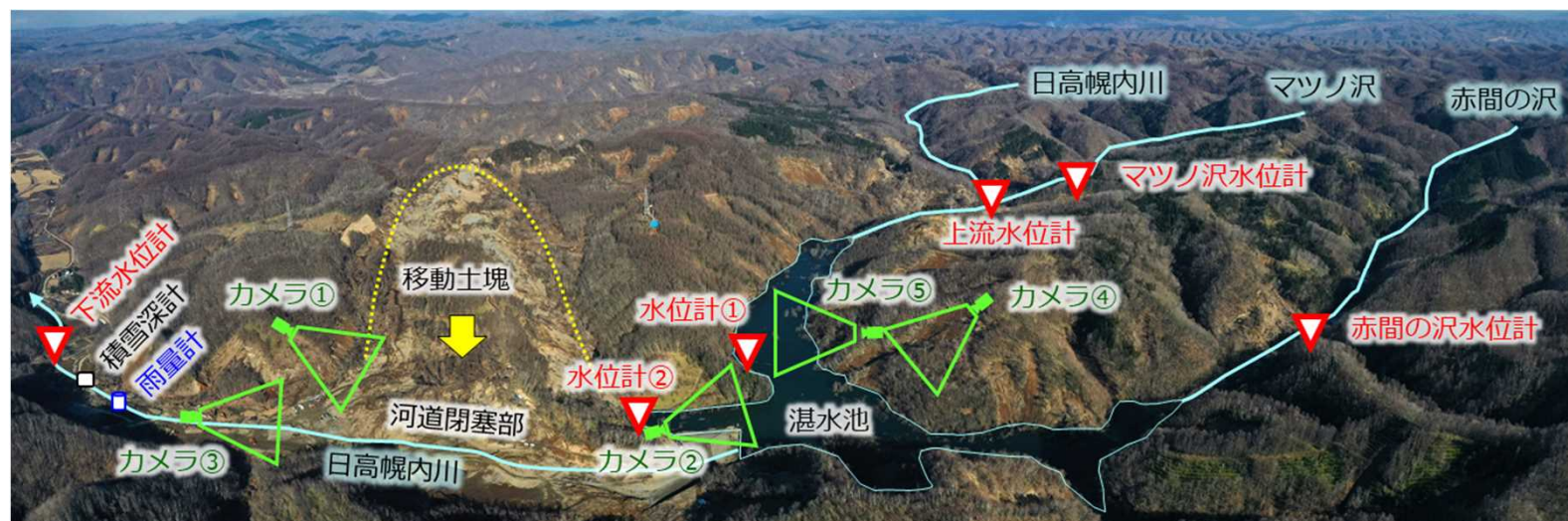
日高幌内川工事状況(R5.8.23撮影)

【砂防】日高幌内川(防災対応の取組事例)①

【監視機器の整備】

移動土塊の更なる崩壊、湛水池の水位上昇による越流の危険性を監視

- ・ 水位計、雨量計、監視カメラ、崩壊検知センサー、GNSS観測、孔内傾斜計、パイプひずみ計
孔内水位計の設置
- ・ 湛水位情報はWEB上で確認できる体制を構築



【砂防】日高幌内川(防災対応の取組事例)②

気象予測・気象データ計測が可能である自然災害防災システム「ZEROSAI」を採用

- ・ Webカメラにてリアルタイムで現場監視を行うことにより、荒天時（河川水位上昇等）の現場状況を把握。
- ・ 計測機器の設置により、設定した警戒基準に達した際にメールにて通知するとともに、現場に設置した電光掲示板および警報装置にて現場作業員に警告を知らせる。現場作業員は、警告を受けた際に迅速な避難行動が可能となる。



水位警報メール	
日高幌内川溪流保全工事 8月4日12時20分発表 気温が設定値以上の予測で 設定値：25℃以上	
日高幌内川溪流保全工事 7月23日13時25分発表 水位が設定値以上を観測しました 水位設定値：2.59m 観測日時：7月23日13時25分 水位観測値：2.59m	
気象警報メール	
厚真町 8月3日 15時30分 雷注意報	
気温警報メール	
日高幌内川溪流保全工事 8月4日12時20分発表 熱中症設定値：25(℃)	
日時 熱中症指数 (度)	
08/04 13:00 32.0	
08/05 00:00 22 01:00 21 02:00 22 03:00 22 04:00 22 05:00 22 06:00 22 07:00 22 08:00 24 09:00 26 10:00 27 11:00 28 12:00 28	

【農業】直轄災害復旧事業の概要

○北海道胆振東部地震（平成30年9月6日03時07分 深さ37km M6.7 震度7）により、事業実施中の2地区と事業完了地区の1地区のダムや用水路等の農業水利施設で被災し、3地区の直轄災害復旧事業を実施

地区名	地区概要	災害事業
早来 はやきた	完了地区 （S60～H13） 関係町：安平町 目的：用水改良、畑かん 面積：1,120ha 作物：水稻、畑作物、野菜等	事業費：約29億円 工期：H30～R4 対象：瑞穂ダム

地区名	地区概要	災害事業
勇払東部 ゆうふつとうぶ	実施地区 （H13～） 関係町：厚真町、むかわ町 目的：用水・排水改良 受益：3,224ha 作物：水稻、畑作物、野菜	事業費：約478億円 工期：H30～R5 対象：厚真ダム 用水路28.3km 頭首工、機場
新鵜川 しんむかわ	実施地区 （H26～） 関係町：むかわ町 目的：用水・排水改良 面積：3,316ha 作物：水稻、畑作物、野菜	事業費：約41億円 工期：H30～R2 対象：用水路 9.6km 排水路 0.1km



【農業】直轄災害復旧事業「勇払東部地区」の概要(厚真町)

○ 勇払東部地区では、ダムや用水路などの用水施設が被災し、直轄災害復旧事業を実施。
令和5年度に事業完了の予定。

事業名	直轄災害復旧事業
地区名	勇払東部地区
関係町	勇払郡 厚真町
対象施設	厚真ダム、頭首工 2箇所 揚水機場 1箇所、 用水路 12条 28.3km
事業費	約 478億円
予定工期	H30～R5



厚真ダムの被災

1 : 100,000



厚幌導水路: 管の離脱

【農業】厚真ダムの被災概要

○ 厚真ダムは、周辺斜面が崩壊し、土砂が洪水吐や貯水池等に流入し、洪水吐、取水放流施設等が被災



【農業】厚真ダムの復旧スケジュール(予定)

- 令和4年度（令和4年11月）までに、本体復旧工事を完了
- 令和5年度は、4月から試験湛水を実施し6月に終了。法面復旧や周辺整備を行い復旧完了し、令和6年度から供用開始となる予定



R5.5.30 厚真ダム試験湛水の状況(満水状態)

厚真ダム復旧スケジュール

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
復旧 工種						試験湛水	供用
	応急工事	放流機能確保					
			洪水吐	洪水吐	洪水吐		
					取水放流施設		
		左岸法面	左岸法面	左岸・右岸法面	左岸・右岸法面	左岸・右岸法面	
			土砂撤去	土砂撤去			
					周辺整備	周辺整備	

【農業】厚真ダムの復旧工事状況

- 令和4年度までに洪水吐、取水放流施設、管理橋等の主要な復旧工事を完了。令和5年度は、左右岸法面工事と周辺整備を実施

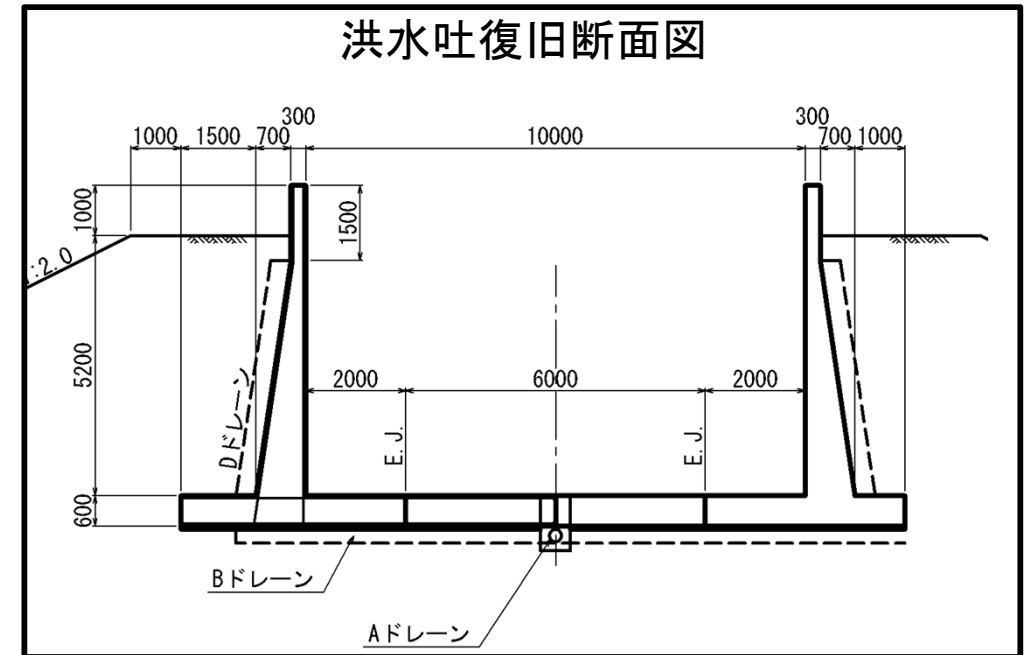
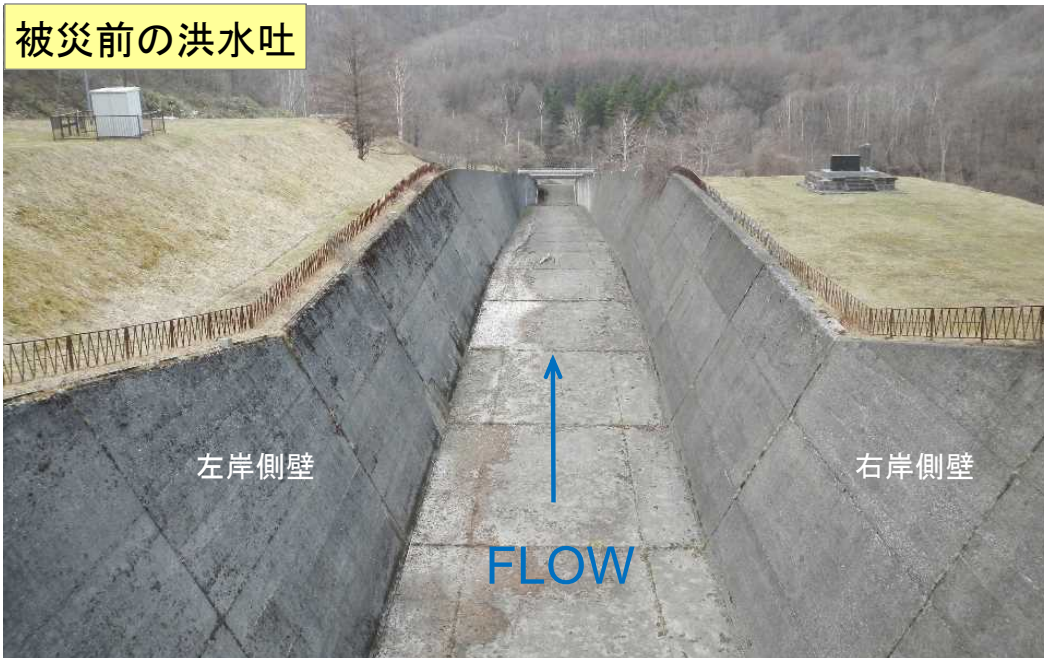


R5.7.24 厚真ダム復旧工事の状況

【農業】厚真ダム 洪水吐の復旧状況

○ 左岸法面の土砂等の崩落の衝撃により、洪水吐の側壁の傾倒や損壊などの被害

被災前の洪水吐



右岸側壁の傾倒



左岸側壁の欠損



【農業】厚真ダム 洪水吐の復旧状況

○ 令和3年4月下旬からコンクリート打設を開始し、令和4年11月までに復旧工事を完了



R2.12.24 被災した洪水吐側壁の撤去状況



R4.9.29 洪水吐の復旧状況



R3.3.19 被災した洪水吐を撤去した状況(現況ケーソン基礎)

【農業】厚真ダム 取水放流施設の復旧状況

○ 令和4年5月中旬から基礎工を開始し、令和5年2月までに復旧完了



R4.6.23 底盤コンクリート打設完了



R4.7.29 バルブ・取水放流管等設置完了



R4.10.14 側壁コンクリート打設状況



R4.11.16 取水放流施設本体復旧完了

【農業】厚真ダム 取水放流施設の復旧状況

- プレキャスト埋設型枠の採用により、作業を単純化し、工期を大幅に短縮、人員も大幅に削減

施工日数:計画 208日⇒実施 138日(3割減)、作業人員:計画 延べ1660人⇒実施 延べ690人(6割減)



プレキャスト埋設型枠の保管状況



プレキャスト埋設型枠の設置状況
(クレーンでの荷降し据付による作業の簡素化)



プレキャスト埋設型枠の設置状況
(ボルトとプレートによる固定で作業を簡素化)



プレキャスト埋設型枠の設置状況(全景)

【農業】厚真ダム 法面の復旧状況

○ 崩落したダム左右岸法面は、崩落土砂を除去し、法勾配に応じて「法枠工」と「植生工」により法面を保護。令和5年度に復旧工事を完了予定

「左岸」法面保護工の整備状況

R2年8月



R2.8.25 崩落土砂の除去状況

R3年6月



R3.6.22 法枠工、植生工の施工状況

「右岸」法面保護工の整備状況

R3年4月



R3.4.14 崩落土砂の除去状況

R4年7月



R4.7.29 法枠工、植生工、排水ドレーンの施工状況

【農業】厚幌導水路の被災状況

- 厚幌導水路は、震度7の地震動により、管の離脱、地盤の沈下、法面の崩落などの被害
- 管内は、管の破断やクラックなど被災しており、離脱箇所等から地下水や土砂等が流入



【農業】厚幌導水路の復旧状況

○ 厚幌導水路は、被災した管の敷設替え等の復旧工事を実施しており、令和4年7月までに本体工事を完了

令和2年度工事の施工状況

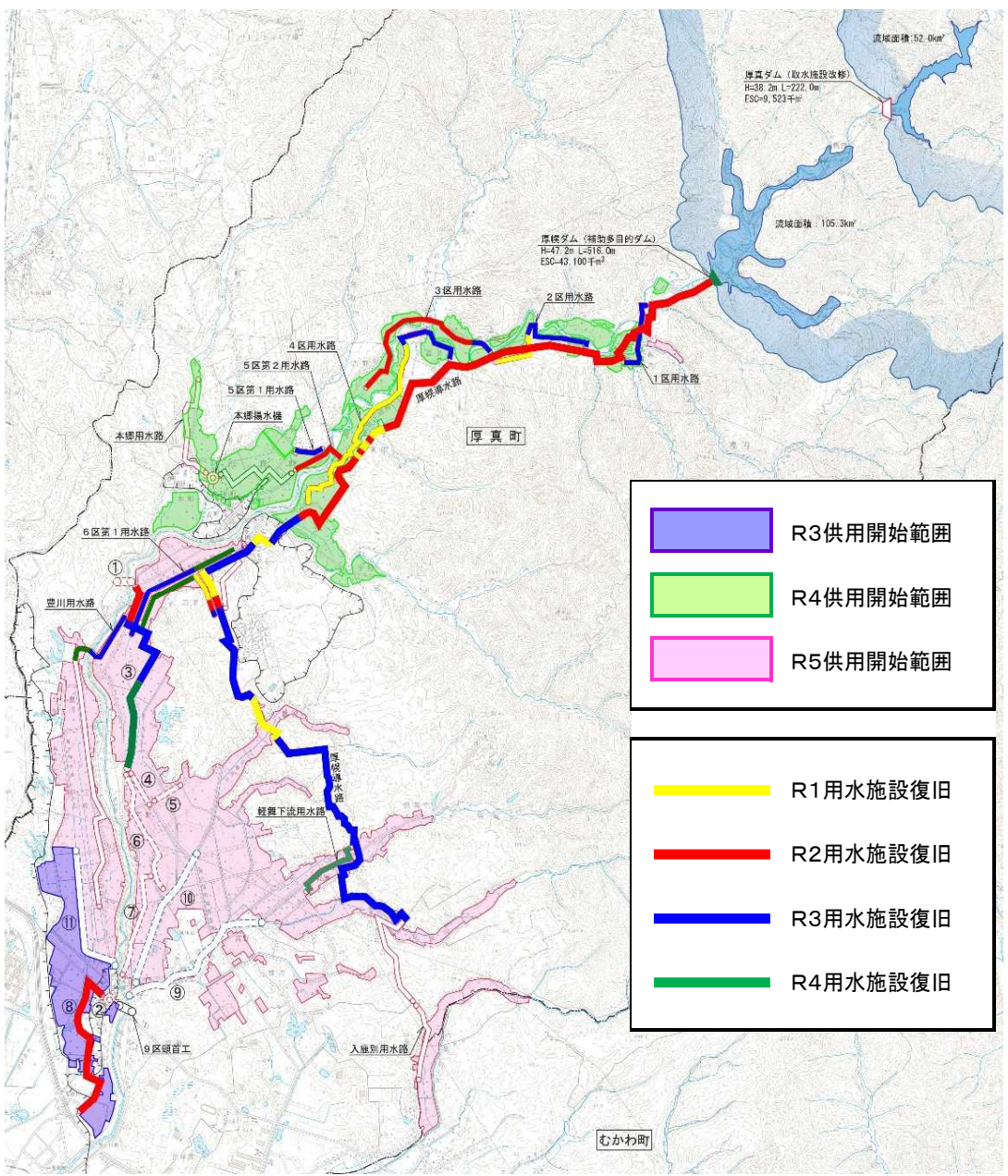


令和3年度工事の施工状況



【農業】勇払東部地区(厚真町)のかんがい用水の確保

○ 用水施設の復旧を終えた区域から、順次、用水供用を開始し、令和5年4月から全区域で供用を開始



勇払東部地区 かんがい用水の供用状況

取水施設	かんがい面積	R3	R4	R5
厚幌導水路	2,011 ha	—	701 ha	1,310 ha
美里頭首工	572 ha	—	—	572 ha
9区揚水機他	260 ha	260 ha	—	—
計	2,843 ha	260 ha	701 ha	1,882 ha
累計	—	260 ha	961 ha	2,843 ha

※ 暫定用水の確保により、令和元年度から営農再開

勇払東部地区 用水施設復旧スケジュール

取水施設	H30	H31 ／R1	R2	R3	R4	R5
厚幌導水路	暫定用水	2.8km	4.3km	8.0km	周辺整備	—
支線用水路	暫定用水	1.4km	2.6km	5.5km	3.7km	周辺整備
頭首工など	—	—	護岸等	—	—	—

【農業】勇払東部地区(厚真町)の暫定用水の確保

○ 被災施設が復旧するまでは、旧施設（廃止予定施設）、仮設水路、仮設ポンプ、仮回し水路などの施設を活用し、暫定用水を確保



仮設ポンプによる取水(2区)R2.5.11



旧施設(既設頭首工)による取水(軽舞川)R4.5.20



仮回し対応(暫定)6区用水路 R2.5.11



仮設ポンプによる取水(軽舞川)R4.5.17

【農業】厚真町(勇払東部地区)の営農(被災後5年目)

- 暫定的な用水の確保と厚幌導水路等の部分的な供用により、被災後の令和元年から営農を継続



東和地区：稲刈り作業(R4.9.27)



富里地区：稲刈り作業(R4.9.27)

作況指数

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
胆振	105 やや良	107 良	110 良	105 やや良
北海道	105 やや良	105 やや良	108 良	106 良
全国	101 平年並	101 平年並	101 平年並	100 平年並



美里地区：GPS自動操舵による田植え作業(R5.5.17)



富里地区：GPS自動操舵による田植え作業(R5.5.17)

【農業】（参考）安平町とむかわ町の被災施設の対応

- 安平町の瑞穂ダムは、令和4年度に復旧を完了
- むかわ町の被災した用排水路は、令和2年度に復旧を完了

安平町（早来地区）



試験湛水が終了した瑞穂ダム（R4.4.18）

地区名	直轄災害復旧事業 早来地区
関係市町村	勇払郡 安平町
工期	平成30年度～令和4年度
事業費	約 29億円
被災状況	瑞穂ダム 1箇所 (堤頂部の損傷、貯水池内土砂・倒木の流入)
対応状況	瑞穂ダムの復旧を令和4年度に完了

むかわ町（新鷲川地区）



復旧した川西幹線用水路（R2.6.11）

地区名	直轄災害復旧事業 新鷲川地区
関係市町村	勇払郡 むかわ町
工期	平成30年度～令和2年度
事業費	約 41億円
被災状況	用水路：L=9.6km (隣接斜面崩壊による土砂の流入、護岸損傷など) 排水路：L=0.1km(護岸損傷 など)
対応状況	用排水路の復旧を令和2年度に完了

【参考資料】

発災から令和4年度までの取り組み

目次

地域支援	．．．．	p. 37
河川	．．．．	p. 41
道路	．．．．	p. 45
港湾	．．．．	p. 47

【地域支援】厚真川河道閉塞箇所への復旧支援

- 平成30年北海道胆振東部地震により、北海道管理区間の厚真川水系では、崩壊土砂により河道閉塞が多数発生。

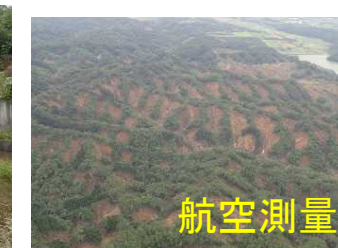
主な被害内容と緊急支援(厚真川)



【地域支援】厚真川河道閉塞箇所への復旧支援

- 被災直後に、遠隔操縦式バックホウ等の重機を手配・派遣し、流木や土砂の撤去等、昼夜を問わず復旧作業を実施し、北海道を支援。

緊急支援状況(厚真川)



【地域支援】TEC-FORCE・リエゾン派遣状況

- 平成30年9月の北海道胆振東部地震時には、北海道開発局のみならず全国の地方整備局から、総勢のべ1,887人(開発局745人、全国の整備局1,142人)のTEC-FORCE隊員が派遣され、被災した全道の市町村に対して被災状況調査や激甚災害指定等を支援した。
- 全国から災害対策用機械(無人バックホウ、照明車等)が管内に集結し、道路啓開や河道閉塞掘削などの地域支援活動(道内から46台、全国の地方整備局から26台、合わせて72台による支援体制)を行った。
- 北海道開発局から、総勢のべ812人をリエゾン隊員として派遣し、各市町村等と積極的な連絡調整を図り、迅速な応急復旧等の支援を行った。

室蘭開建管内におけるTEC-FORCE・リエゾン活動



管内自治体等へのTEC・リエゾン派遣人数

	TEC	リエゾン
胆振総合振興局		42
苫小牧市		14
苫東中央管理ST	426	17
登別市		5
厚真町	538	341
安平町	151	110
むかわ町	78	92
平取町		7
日高町	3	19
新ひだか町		4
日高振興局		2
室蘭開発建設部	55	
複数市町等	268	8
合計	1,519	661

管内自治体における災害対策機械稼働台数

遠隔操作式バックホウ	6
衛星通信車	4
待機支援車	2
多目的支援車	1
散水車	20
照明車	27
水陸両用車	1
合計	61

位置図

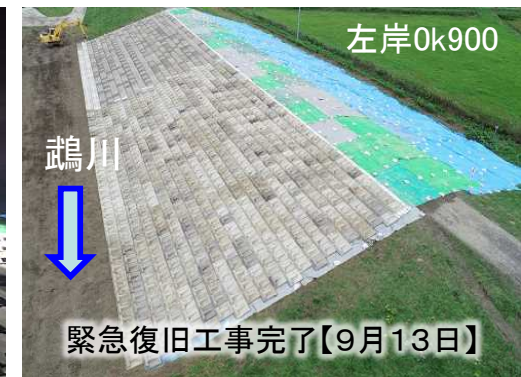


【河川】 鵜川水系鵜川 堤防の緊急復旧工事の概要

- 平成30年北海道胆振東部地震により、室蘭開発建設部管内における国管理の鵜川・沙流川では、堤防亀裂などの被災があり、軽微なものを含め約70箇所では被災が確認された。
- 堤防に重大な損傷を受けた箇所は、被災直後に緊急復旧工事を実施。

主な被害内容と緊急対応(鵜川)

- 鵜川水系鵜川 勇払郡むかわ町汐見地先において、堤防縦・横断亀裂などが、大小含め多数の堤防に被災が生じ、堤体本体に大きな変状がみられる箇所については、次の出水に備え、緊急的な復旧工事を平成30年9月7日に着手。
 - 延長約400mにわたり被災。
 - 亀裂箇所には、応急盛土を行い、その後、シート張り工及び護岸敷設を行った。

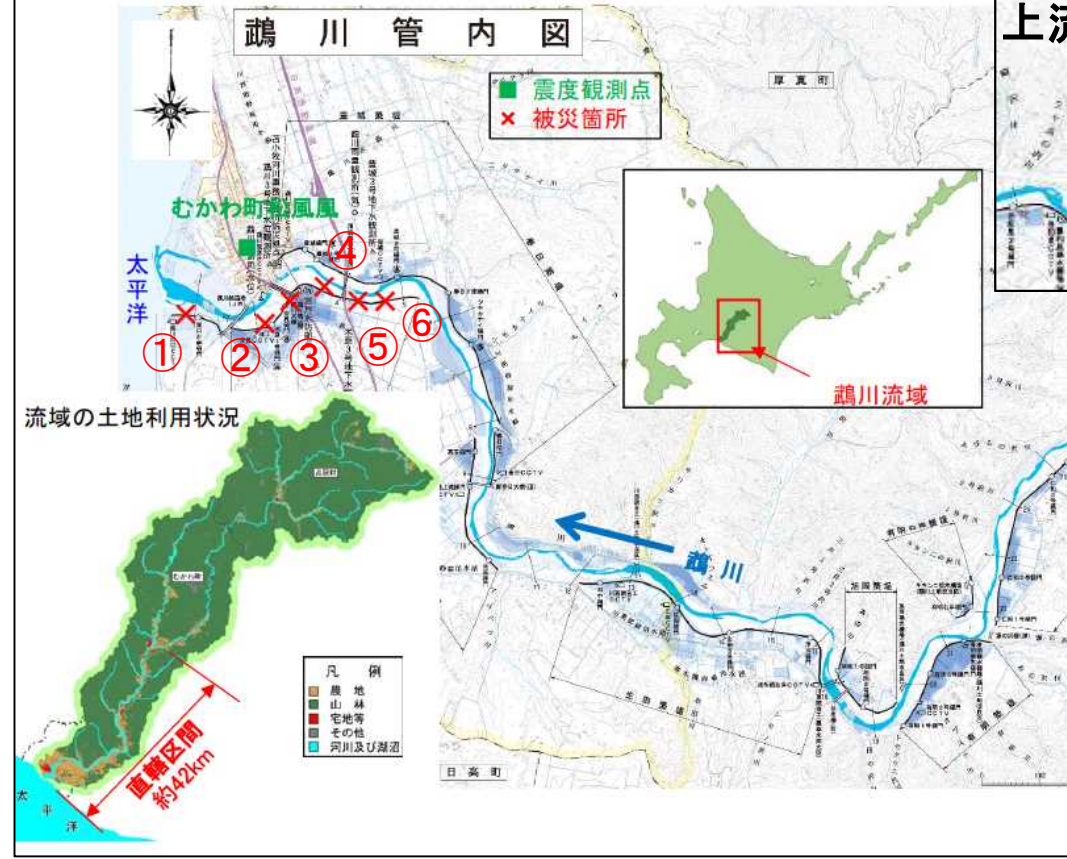


- 応急盛土 約5,000m³、大型連節ブロック 約6,000m²を敷設。
- 発災翌日9月7日から13日の7日間、約83百万円(災害対策車両含む)で緊急復旧を完了。

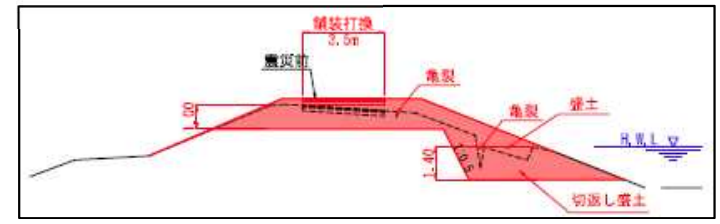
【河川】 鵜川及び沙流川 河川災害復旧工事の概要

- 緊急復旧工事も含め、堤防被災箇所について災害復旧事業費を要求。
- 鵜川で7箇所(L=830m)、沙流川で1箇所(L=175m)の災害復旧が採択され、本格的な出水期を迎える令和元年7月末までに、再度災害防止対策(災害復旧工事)を完了。

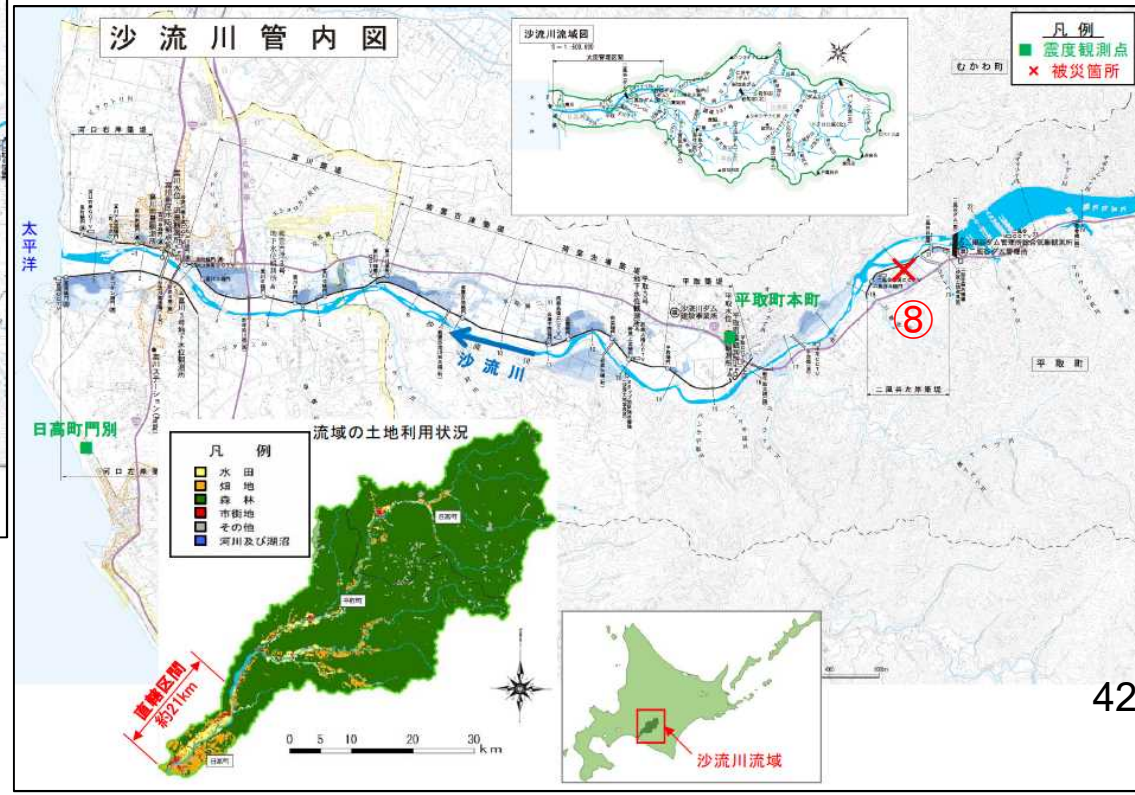
<鵜川>



復旧工事の断面イメージ



<沙流川>



- 国が管理する鵜川・沙流川において、計8箇所(約430百万円)の災害復旧工事を実施。
- 堤防亀裂箇所を詳細に調査し、切り返し土工(盛土)により堤防を復旧(約20,000m³の土量)。
- 令和元年7月末をもって、すべての堤防復旧工事が完了。

【河川】 鷗川及び沙流川 河川災害復旧状況

- 国が管理する鷗川・沙流川において、計8箇所(約430百万円)の災害復旧工事を実施。
- 堤防亀裂箇所を詳細に調査し、切り返し土工(盛土)により堤防を復旧(約20,000m³の土量)。
- 令和元年7月末をもって、すべての堤防復旧工事が完了。

本復旧の進捗状況(鷗川)

① 着手前打合せ



被災メカニズム・切り返し範囲
冬期掘削等の事前確認

② 除雪



準備工(除雪)の実施

③ シート撤去



準備工(シート撤去)の実施



被災した築堤のクラック調査。

④ 切り返し工



クラック調査に基づき
丁張りを設置し切り返し工を実施

⑤ 切り返し箇所盛り土



切り返し工完了後、
順次、盛土施工を開始

⑥ 盛り土箇所整形



盛土完了後、
順次、整形を実施

⑦ 植生



整形完了後、植生を実施。

完 成



主な工事の流れ

凡例  着手前  施工中  完了済み

① 着手前打合せ

② 除雪

③ シート撤去

④ 切り返し工

⑤ 切り返し箇所盛土

⑥ 盛り土箇所整形

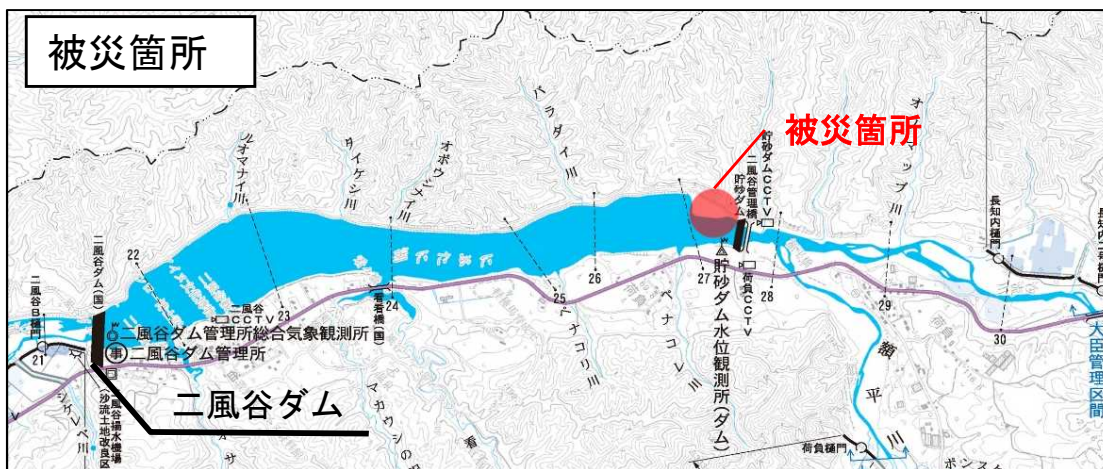
⑦ 植生

令和元年7月末時点

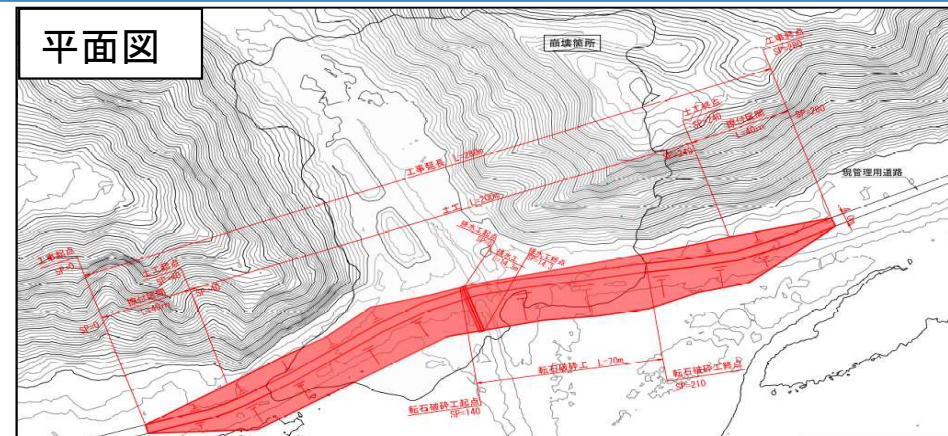
【河川】沙流川水系 二風谷ダムの災害復旧状況

- 平成30年北海道胆振東部地震により、二風谷ダム貯水池周辺の斜面崩壊による管理用道路の被災が確認された。
- 被災箇所は、貯水池周辺の維持管理のための管理用道路であり、巡視等に使用されることから、災害復旧工事(約270百万円)を実施し、令和2年11月に復旧した。

被災箇所



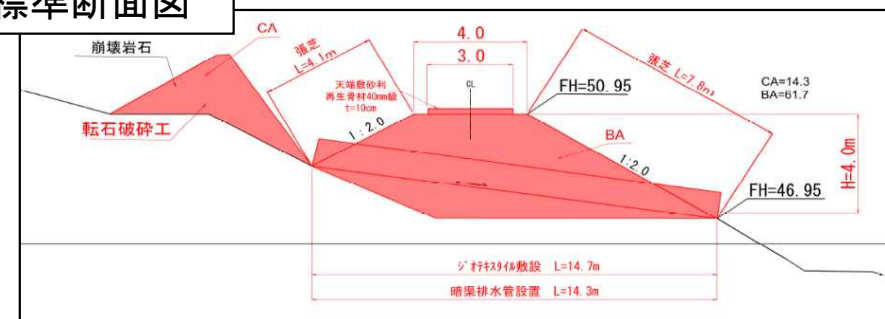
平面図



被災状況



標準断面図



施工状況



復旧後



【道路】震災直後の応急対応(事例)

地震発生直後から、日高自動車道(沼ノ端西IC～日高厚賀IC)を全面通行止めとし点検を実施した結果、路面変状による段差等を確認。

迅速に復旧計画を立て、昼夜にわたり応急復旧工事を実施し、地震発生から3日後の平成30年9月9日8時には、すべての区間で通行止めを解除。

【E63】日高自動車道 沼ノ端西IC～日高厚賀IC (L=56.3km)
9/6 3:46～地震時点検のため全面通行止め

厚真IC～日高厚賀IC (L=40.6km)
9/6 15:30 地震による路面損傷のため全面通行止め

沼ノ端西IC～厚真IC
9/7 9:00迄解除済み

厚真IC～鵠川IC
9/8AM8:00解除

鵠川IC～日高厚賀IC
9/9AM8:00解除

鵠川ICランプの路面段差



鵠川IC合流部の路面段差



【道路】災害復旧事業の状況

・日高自動車道

路面変状による段差等は、特に苫東中央IC～日高富川IC区間で多く確認されたが、昼夜にわたる応急復旧工事の結果、早期に通行止めを解除。

その後、舗装の打ち替えや防護柵の補修などの本復旧工事を行い、平成30年度末までに復旧を完了。

鵠川IC合流部の路面段差



苫東中央IC付近の路面段差



【港湾】災害復旧事業の状況(苫小牧港被災施設位置図)



【港湾】災害復旧事業の状況(苫小牧港)

港区	施設名	主な復旧工事概要	復旧期間
西港区	中央南ふ頭 1号岸壁	コンクリート舗装取り壊し:1式 コンクリート舗装:2,600m ²	R1.8～R1.10
	中央南ふ頭 2号岸壁	コンクリート舗装取り壊し:1式 コンクリート舗装:160m ²	R1.8～R1.10
東港区	中央ふ頭 2号岸壁	コンクリート舗装取り壊し:1式 コンクリート舗装:330m ²	R1.8～R1.9
	船だまり船揚場	アスファルト舗装取り壊し:1式 アスファルト舗装:710m ²	H31.4～R1.5
	船だまり荷さばき地	整地:230m ²	R2.3
	船だまり3m物揚場	舗装工撤去、上部工撤去、鋼矢板撤去等:1式 鋼矢板打設:90m、上部工打設:110m 地盤改良工:1式、コンクリート舗装工:1,100m ² 付属工(防舷材等):1式、防食工:1式	H31.4～R2.3
	船だまり4m物揚場	舗装工撤去、上部工撤去、鋼矢板撤去等:1式 鋼矢板打設:440m、上部工打設:440m 地盤改良工:1式、コンクリート舗装工:5,500m ² 付属工(防舷材等):1式、防食工:1式	H31.4～R2.7

【港湾】災害復旧事業の状況(苫小牧港西港区 被災状況)



中央南ふ頭1号岸壁 エプロンひび割れ



中央南ふ頭1号岸壁 エプロンひび割れ



中央南ふ頭2号岸壁 エプロン沈下

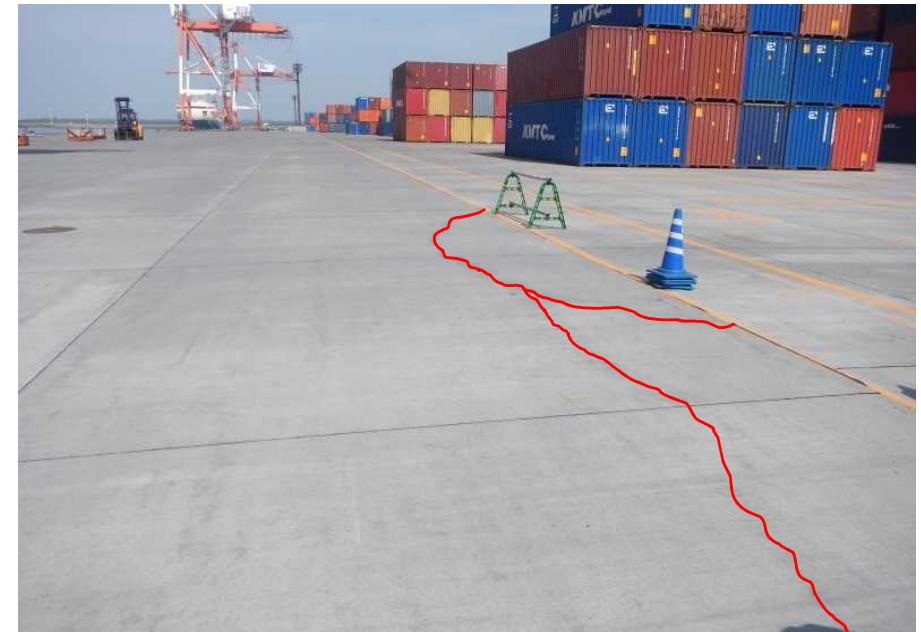


中央南ふ頭2号岸壁 エプロン沈下(段差141mm)

【港湾】災害復旧事業の状況(苫小牧港東港区 被災状況)



中央ふ頭2号岸壁 エプロンひび割れ



中央ふ頭2号岸壁 エプロンひび割れ



船だまり船揚場 アスファルト舗装ひび割れ



船だまり荷さばき地 起伏、地割れ、沈下

【港湾】災害復旧事業の状況(苫小牧港東港区 被災状況)



船だまり3m物揚場 本体の迫り出し



船だまり3m物揚場 エプロンひび割れ



船だまり4m物揚場 本体の迫り出し



船だまり4m物揚場 上部コンクリート前出し

【港湾】災害復旧事業の状況



中央南埠頭1・2号岸壁 既設エプロン舗装撤去状況



中央南埠頭1・2号岸壁 コンクリート舗装施工状況



使用できなくなった矢板を引抜く

船だまり3m物揚場 矢板引抜き状況



船だまり3m物揚場 控えコンクリート打設状況

【港湾】災害復旧事業の状況(苫小牧港東港区 令和2年7月10日時点)



【港湾】災害復旧事業の状況(苫小牧港東港区 令和2年7月10日時点)

